

G2神戸新聞杯2023 全頭血統診断

1番サスツルギ

父ハーツクライ。母系はネヴァーヴェンド系×サドラーズ配合の英国牝系。
軽い馬場の外回り2400mは、古馬になってからの方が走りそうな配合。

2番ショウナンバシット

父シルバーステートは、少しパワー寄りの種牡馬ですが、
母系が米国型ND系の2段重ねに曾祖母父が米ゴーンウエスト系(ミスプロ系)
というゴリゴリの持続型米国牝系。スナリ先行ならば残り目もあるかも知れません。

3番サトノグランツ

父サトノダイヤモンドは、ややパワー寄りの種牡馬ですが、
母父にダンチヒ系を持たせることで高速馬場にも対応出来ております。
ダービーは物理的に届かないポジションで参考外。
本来は好位から競馬が出来る馬。
位置取りが鍵になりそうですが、自分の形で運べれば。

4番ロードデルレイ

ロードカナロアとハーツクライの配合はマイラーに出る事が殆どで、
現状での上限距離は2000m。距離延長がカギになりそう。

5番パールデュヴァン

父はスプリンターのミッキーアイル。
母もスプリンターでした。
ここで好走するシーンがちょっと想像できません。

6番サヴォーナ

父はキズナ。母父は豪州のダンチヒ系で、
ディープ×豪ダンチヒの配合は17年3着のサトノアーサーと同じ。
距離短縮が鬼門ローテのレースですが、一応の警戒を。

7番ファントムシーフ

サンデー系もキングマンボ系も持たないノーザンダンサー系を集めた配合で、

前に行って粘るしかない「切れない血統馬」。
何でこれがこんなに人気なん？と思うのですが、
拙者がそう思うような人気馬は良く勝ちますな…(；・∀・)

8番マイネルラウレア

父はステイゴールド系ゴールドシップ。
母父は米国型ヘイロー系、祖母父はミスプロ系スプリンターのマイネルラヴ。
スタミナに寄りがちなステイゴールド系を母系からスピード強化試みた配合です。
速い上りは使えますが、常に後方集団にいるタイプなので、展開次第と言ったところ。

9番ビキニボーイ

Dr.コパさんの馬。風水パワー頼みか？
個人的にはスプリント路線を試してほしいと考えております。

10番ナイトインロンドン

グレーターロンドン産駒はマイル～1800mが本領ですが、
この馬は母父にメジロマックイーンを持つ事で2400m以上に適性を見せております。
サヴォーナ同様に鬼門の短縮ローテですが、東京2400mを連勝した時計が
いずれも基準タイムを大きく下回る好時計でした。

祖母の配合がレイズアネイティヴ×ボールドルーラーと言う持続力強化配合で、
これが先行して上り最速で押し切る強さの根源となっておるのでしょうか。
距離ローテから考えれば半信半疑ですが、馬券からは外せないかと。

11番シーズンリッチ

父がドウラメンテ。
母系はハーツクライ×持続血統×持続血統の配合。
先行してバテずに流れ込むレースに向いております。
ダービーで0秒4差、阪神外回り重賞ウイナーなら悪くないでしょう。

12番スマートファントム

ハービンジャー×ディーピンパクトの配合は、
マイル～2000mが本領で、それ以上の距離になると
重賞では足りないのが現状です。

13番ハーツコンチェルト

ハーツクライ×米国型と言うダービー血統馬。

そのダービーはタイム差無しの3着で、外がもっと有利な馬場であれば、勝ったのはこの馬だったかもしれません。

右回り不安説はありますが、それは内回りコースでの結果であり、全兄弟達の右回りは連対率48%と高水準。決して遺伝的にサウスポーと言う訳ではないでしょう。

前残りの展開になると厳しいでしょうが、ここで権利を取らねば賞金的には菊花賞出走が危ぶまれる可能性もあり、長距離適性の低い厩舎ではありますが、必死のパッチの栗東滞在。